

## 9. デルフィニウム

### ・殺菌剤

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
19	ポリオキシシAL水溶剤	散布	発病初期	8回以内	花き類・観葉植物
14	リゾレックス粉剤	土壌混和	定植前	1回	花き類・観葉植物
	リゾレックス水和剤	土壌灌注	生育期	5回以内	

### ・殺虫剤（参考農薬）

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
10	ニッソラン水和剤	散布	-	2回以内	花き類・観葉植物
21	ピラニカEW	散布	発生初期	1回	花き類・観葉植物(カーネーション、きくを除く)

- 注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。
- 注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。
- 注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。
- 注4) 蚕毒・魚毒については、「28. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
立 枯 病 (F)	定 植 前	1. 苗感染する機会が多いので、罹病苗は絶対に用いない。 2. リゾレックス粉剤を10a当り50kg全面に均一散布し、土壌とよく混和する。	1. 本病は地際茎のくびれを伴い、根は障害を受けないので、類似する他の立枯性病害と注意して区別する。 2. 粉剤と水和剤の処理を組み合わせると効果が高まる。
	生 育 期 間	1. 栽培中に発病した場合は、発病株やその周囲の株を抜き取り、リゾレックス水和剤500～1,000倍液を土壌灌注する。	
う どん こ 病 (F)	生 育 期 間	1. 発病を見たら、直ちに罹病部を除去し、薬剤を散布する。 2. ポリオキシシAL水溶剤2,500倍液を散布する。	1. 薬剤耐性菌の出現を避けるため、同一系統の薬剤を連用しない。
ハ ダ ニ 類	生 育 期 間	[参考農薬] 1. ピラニカEW2,000倍液、又はニッソラン水和剤2,000～3,000倍液を発生初期に散布する。	1. ピラニカは葉害の発生に注意する。